## おかげさまで60周年



おかげさまで弊社も会社設立から60年を迎えることができます。これもひとえにお得意様及び 地域の皆様のおかげさまです。深く感謝申し上げます。今号では、浄化槽の歴史的背景や弊社の 成り立ちなどを簡単にご紹介させて頂きます。

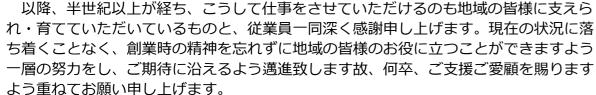
日本で最初に設置された浄化槽は、明治44年ごろに川崎市にあったマツダランプエ 場といわれています。その頃の浄化槽は単独浄化槽と言われたトイレの汚水のみを処理 するものです。それまでは、汲み取り式の便所が多くそのし尿は業者に買い取られ、田 畑に撒くことで作物の貴重な肥料として使用されました。この循環サイクルは江戸時代 には確立されていたようですが、古くは平安・鎌倉時代の文献にその記述が残っている そうです。



のちに化学肥料の登場により必要なくなったし尿は、処理に困り、河川や海へ投棄さ れます。当然ですが、し尿由来の寄生虫・伝染病(感染症)など、公衆衛生上の問題が 発生します。日本が高度成長期の頃には、一般家庭の汚水が公共用水域の汚染源として 問題になり、昭和30年~40年ごろにかけて全国市長会等でし尿の処理方法や処理計 画等が論議・検討されはじめました。



この頃、弊社の創業者が昭和34年に、鹿児島市で「浄化槽清掃業許可第1号」とし て、有限会社文化社を設立。名称の由来は日本国憲法第25条にある「すべての国民は、 健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する・・・」という一文からいただいて います。昭和51年には、伊集院町・松元町・郡山町の1市3町での浄化槽業務をさせ ていただき始めます。







▲現在のバキュームカー。 什事場所が「汚濁発牛の最前線」。 その水は川へ流れやがては海へ。錦 江湾の豊かな海は、業務のゴールと の思いからこのデザインに!

## この60年間に行った取り組みの一部をご紹介・・・

平成 8年 阪神・淡路大震災に脱臭剤を寄贈

平成15年 地域・お客様と弊社の橋渡し「かたいもんそ」 創刊

平成21年 創立50周年に鹿児島市社会福祉協議会に50万円寄贈

平成22年 東日本大震災時の協力要請に鹿環協を通じ協力

平成26年 創立55周年に鹿児島市社会福祉協議会55万円寄贈

平成30年 西日本豪雨災害時の協力要請に社員2名を派遣

平成31年 創立60周年を迎える

この他にも、地域貢献活動として今号でご紹介の、八重山登山道の清掃活 動・管工事組合の公園ボランティア・松元・郡山の夏祭り後の清掃・甲突川の 清掃など行っています。地域の皆様への弊社からのほんの御恩返しの一環です。

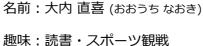
## 休耕地アート第2弾!! ~花尾町~

新しい時代の幕開けに相応しい休耕地アートを、またま た弊社の管理士が見つけてきました。

場所は県道211号線沿いの花尾町。休耕地の雑草を きれいに刈り込んで「令和」の文字がくっきりと!隣に は「明治」・「大正」・「昭和」・「平成」の文字もあ るのですが、歩道からではうまく写真を撮れなかったよ うです。一文字当たりの大きさは縦横10メートル位あ るとの事。かなりの広さがあるので管理は大変そうです が、こういったアイデアマンが仕事をさせていただいて いる地域にいらっしゃるのは私達の励みにもなります。







新しい仲間

のご紹介!

抱負: まだまだ足りないことがあ りますが、一生懸命頑張ります。 よろしくお声掛けください。

# かたいもん

発行所 株式会社 文化社

平成15年5月創刊 「かたいもんそ」は、http://bunka-inc. Jp にてご覧いただけます。55号は令和元年6月1日より配布開始しています。

各地で発生する災害で被災された方々のご心痛を偲び、一刻も早くいつもの暮らしを手に 入れられることを祈念いたします。

おかげさまで令和元年に設立から60年がたちました。創業者や先輩方、長い間お世話にな りますお客様やお取引様のおかげ様と感謝の念に堪えません。弊社の業務は人が嫌がる仕事 ですが、皆さま方のいつもの暮らしには欠かせないものと考えています。いつも通り使用で きて当たり前の生活の舞台でご活躍頂けるように支える「黒子」であり、血管では「静脈」 にあたる役割を担っています。いつもある暮らしをいつもあるようにサポートさせていただ く会社として、ご縁を戴く地域で、ご縁を戴くお客様の暮らしをお支えさせていただけるよ うに務めてまいります。その延長に、前回ご案内しました「空き家空き地の見守り業務」が あります。わかりにくい業務や日頃逢うことが少ない社員を少しでも知っていただき、お任 せいただけるようにホームページも再改定しました。



今後も、お客さまに役立つ存在であり続けられるように修養いたします。引き続きのご愛 顧と至らぬ点への叱咤激励の程よろしくお願い申し上げます。

#### 郡山・八重山登山道の清掃活動 ボラン ティア ~安全なハイキングコースに~



4月19日(金)、郡山の八重山登山道(甲突池~展望台コース)の清掃活動を社員7名で行いました。

例年行っている活動ですが、今年で7回目となります。5月の大型連休や地元商工会主催の八重山ハイ キングで安全にそして快適に登れるようにチェーンソーや刈り払い機を使い、倒木などを除去しながら 頂上まで清掃しました。昨年は台風の襲来もなかったせいか登山道の倒木なども少なかったので、入り 口付近の草払いも行いました。当日は快晴で、頂上での休憩時には遠くに開聞岳も見えていたとの事。 頂上まで約1時間弱で登れる手軽なハイキングコースです。







公園遊具・水廻り機器点検活動

~ 鹿児島市管工事組合 ~





4月20日(土)、社員23名が参加して、市内11箇所の公園のトイレや水飲み場及び遊具の点検・清 掃を行いました。今年で16回目の実施となった活動ですが、公園緑化課及びこども政策課が管理する旧 鹿児島市内の公園、約640箇所を組合員73社・約500人が手分けし、公園の遊具や水回りを入念に 点検しました。

公園の遊具も老朽化が進んでいるものもあり、腐食や破損している部分は写真と報告書を提出しました。 また、お花見のあとと思われるゴミなどもあり、そのマナーを残念に思うところもありました。



ティア









### 諸正岳・矢筈岳の登山道 ~伊集院町飯牟礼地区~

先日、弊社一のアウトドア派の社員が登った日置市伊集院町飯牟礼にある矢筈岳と諸正岳 をご紹介致します。

日置市のHPによると、この二つの山は矢筈岳の標高が302メートル、諸正岳の標高は 301メートルでほぼ同じ高さです。いずれの山も飯牟礼台地の東側に位置し、矢筈岳はこん もりした山で、諸正岳はなだらかな丘状の山です。眼下には飯牟礼地域のお茶畑のほか、 伊集院市街地、重平山、八重岳が広がり、東側には桜島や、晴天時には霧島連山も望める とのこと。

実際に登った社員によると、どちらも15分程度で山頂まで行けるので小さなお子様でも ハイキングがてら散策でき、二つの山を休憩しながら縦走しても二時間半で走破できると の事。また縦走路とは別にウォーキングロードも整備され6月ごろからはドクダミの白い 花や紫陽花、秋にはつわぶきの花やモミジなども楽しめるようです。是非、挑戦されてみ てはいかがでしょうか?









## 飯牟礼の伝説!?

昔、飯牟礼に力持ちの大鬼がいました。ある日、大鬼が力自慢を村人たちに 見せようと飯牟礼山と桜島とどちらが重いか持ち上げてみせると言って、桜島 は持ち上がったものの、飯牟礼山は持ち上げることが出来ず、村人たちの前で 恥をかいたと怒ってしまい、飯牟礼山を力一杯叩きました。すると飯牟礼山は 二つに割れて矢筈岳と諸正岳に分かれてしまいました。その時に踏ん張ってで きた足跡に水が溜まりできたのが上池と下池という言い伝えがあります。



れいな花が・・・

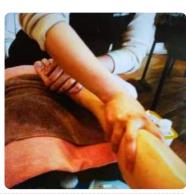
## 自宅開放型 **優花Salon 移転オープン!** ~東俣町~



東俣町に癒しの空間「優花サロン」が再オープンしました。以前は日置市伊集院町で営業されていたそ うですが、 昨年10月より自宅を開放し個室のサロンに変身しました。 オーナー様曰く、「お客様 のおかげで新しく再スタートを切ることができました。心より感謝申し上げます。完全予約制ですので、 お子様連れのお客様も安心してお越しください」との事。また、「お肌のトラブル・お悩み・お手入れ の仕方など、なんでもご相談ください。」との事。















#### 小 松 菜 屋 **KOMATSUNAYA**

~川田町~

鹿児島市川田町に農業と福祉を連携させたお店「小松菜屋」さんがオープンしました。

















お店は県道211号線沿いの田んぼや畑に囲まれた一角にあります。様々な障がいを抱えた方々が常時 10数名在籍され、ハウスでの名前の由来になった小松菜の水耕栽培や接客・販売などに携わり、一生懸 命に働いておられました。その姿に取材した担当社員も良い刺激をいただいたとの事でした。

また、お店には小松菜スムージーや小松菜餃子をはじめバジルソースやグリーン&ナッツソースなどが あります。障がい者の方々が手塩にかけて育てた水耕栽培の小松菜スムージーは、野菜嫌いの担当社員も 「苦味などもなく飲みやすい!」と大絶賛!!

皆様も一度味わってみられては、いかかがでしょうか。

営業時間:9時~16時 休日:お盆・正月